

三尻地区幼小中地域防災訓練

- 1 ねらい
- (1) 地震災害に備えて、隣接する幼稚園・小学校・中学校・地域が合同で防災訓練を実施することで園児、児童、生徒や教職員・保護者、地域の方々の危機対応能力を高め、絆を深める。
 - (2) 小・中・地域が十分な連携を図ることで各所の自主的防災体制を確立する。

2 日時 平成28年8月29日（月）10：25～

3 概要

- (1) 訓練の想定震度・被害状況と各部の行動基準
- 想定震度 5弱
- 《第1次避難》
- 小学校避難開始→避難経路の安全確認各学校校庭
- 《第2次避難》
- 小学校校内施設の安全確認→保護者にメール配信→児童帰宅準備
- 登校班毎に小学校校庭（雨天時体育館）待機（中学生待ち）
- 中学生と共に下校
- 保護者 自宅付近にて下校の見守りと引き取り

防災訓練実施計画（地震→避難→地区別集団下校）案

三尻小学校

- 1 ねらい
- (1) 三尻地区防災訓練により防災意識を高め、危機対応能力を養う。
 - (2) 合同防災訓練により、幼小中、地域の連携を図り、絆を深める。
 - (3) 敏速に安全行動がとれるよう落ち着いて集団行動を行う。

2 日時 平成28年8月29日（月）10：25～
（3時間目～）

（教科1時間、学校行事1時間）

3 場所 校舎内 → 校庭（体育館） → 下校して各家庭

4 参加範囲 全校児童・職員

5 計画

（事前指導）

- ① 日頃の地震に対する備え、避難経路について話す。
- ② 避難時は「おかしもち」を徹底する。

お
か
し
も
ち
 - おさない
 - かけない（校舎内のみ・外は小走り）
 - しゃべらない
 - もどらない
 - ちかづかない
- ③ 整列順序を決めておく。
- ④ 校内放送をしっかりと聞かせる。
- ⑤ 校庭に避難後、中学生の先導により下校する合同防災訓練であることを指導する。
- ⑥ 帰りの支度を訓練しておく。

（当日）

基本行動	教師の行動	児童の行動
10：25 緊急地震速報 (2分)	(放送・栗原利) 緊急地震速報受信端末機を使ってチャイム音(2回) 「地震です。落ち着いて身を守ってください。」 ※2回繰り返し 地震の揺れの効果音	・緊急地震速報を聞いたなら、自らの判断で、「落ちてこない」「倒れてこない」「移動してこない」安全な場所へ移動し身を守る。 ・教室では、机の下にもぐり、机の脚を対角線にしっかりつかみ、揺れが収まるまで待つ。
	・児童の行動については教職員側から指示しない。 ・机の下にもぐれない、うまく行動できない児童に対しては教職員から指示を与える。 ・効果音が流れている間は、机から出てこないように見守る。	

10:29	(緊急放送・教頭)	
避難の放送 (1分)	地震の揺れが収まってきました。 先生の指示に従って校庭に避難しなさい。	
通報の確認	・ 通報内容を正確に聞き取らせる。 ・ 窓を閉め、出入口を開けさせる。	① 静かに放送を聞く。 ② 出入口を素早く開ける。
避難出口の確保 危険物の処理	・ 電気のスイッチを切る。(ガス等の栓を閉める。) ・ 避難の指示をする。	③ 静かに教師の指示を待つ。 ④ 紅白帽子をかぶる。
校庭へ避難 (3分)	・ 担任(授業者)は黒板下の名簿を持つ。 ・ 避難経路から避難する。 けが人や心身に障害をもつ児童は十分に配慮する。	⑤ 「おかしもち」を守る。 ⑥ 校舎内は走らず、校庭にでたら、小走りで避難場所に待合する。
10:35 (5分)	・ 避難場所でただちに人数の確認・報告(担任)→(学年主任)→(教頭) ・ 次の指示(校長) ・ メール配信をする。(町田)	⑦ クラス毎に整列し、すわって静かに待つ。
10:40 教室に戻り、 帰りの支度	・ 避難訓練について話をし、よりすばやく安全にできるようにさせる。 ・ 帰りの支度を手際よくさせる。	⑧ ベランダで上履きの裏を拭き、帰りの支度をする。
10:55 <u>コの字型</u> に 整列 (2分)	・ 班長が1年生を迎えに行ってから、 <u>コの字型</u> 一斉下校の位置に並ばせる。	⑨ <u>コの字型</u> 一斉下校の位置に並ぶ。班長は1年生を迎えに行つて並ばせる。
11:00 中学生を待つ	・ 地区毎に班長先頭に並ばせ、人員を確認する。 ・ 班長に地区の札を持たせる。 ・ 学童は別に並ばせる。	⑩ 静かにすわって中学生を待つ。
通学班毎に下校	・ 中学生に安全に先導するよう指導する。小学生には、一人一人が安全に気をつけるよう話す。 ・ 地区担当が小中学生の様子を見ながら途中まで安全に連れて行く。	⑪ 地区の班毎に中学生の先導で、安全に下校する。

(事後指導・評価)

- ① 避難訓練の反省をする。
 - ・ 「おかしもち」を守って、迅速・安全に避難できたか。
 - ・ 地震及び火災発生の場合の避難の仕方、避難経路を覚えることができたか。
- ② 防災についての心構えを確認する。

- 6 出席簿・名簿の持ち出し
出席簿…職員室の所定の場所に置いておく→担当者が一括して校庭へ
名簿…板目に最新の名簿を貼り、黒板の下へ常時置いておく
→担任(授業者)が校庭へ
- 7 指揮系統 校長(防火責任者・教頭→学年主任→学級担任)
*報告は、指揮系統の逆の順で行う。
※報告の仕方「〇年生児童〇名、欠席〇名、現在〇名全員います。」
- 8 避難経路 別紙(第1回避難訓練と避難場所は同じ)
- 9 最後に昇降口を閉める担当(これは火災の場合、今回は閉めない。)
第1昇降口(堀江)第2昇降口(小林詩)第3昇降口(猪野)第4昇降口(増田)
職員玄関・体育館通用口(栗原正)・教室棟通用口(櫻沢)
※セルフの先生に教室棟昇降口の最後の確認をしてもらう
- 10 その他
・ 雨天時は、体育館へ避難する。
始めは朝礼隊形。校長先生の講評が終わってから、コの字型の一斉下校隊形。